

2025年5月28日

報道機関各位

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「岩手新事業創造ファンド3号」による投資について  
(株式会社キノファーマ)

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 新里 真士）は、株式会社岩手銀行等と2023年6月に組成した「岩手新事業創造ファンド3号投資事業有限責任組合」の投資先として、抗ウイルス薬の研究開発を行う株式会社キノファーマ（以下「キノファーマ」という、本社：東京都中央区、代表取締役：黒石 眞史）に投資を行いましたので、下記のとおりお知らせします。

キノファーマは、ウイルスが増殖する際に利用する宿主（ヒト）因子を阻害することで、ウイルスの増殖を抑制するという新たなアプローチによる抗ウイルス薬の研究開発を行っている京都大学発のベンチャー企業です。現在、ヒトパピローマウイルス（HPV）によって引き起こされる子宮頸部上皮内腫瘍（子宮頸がんの前がん状態・通称CIN）と尋常性疣贅（イボ）に対する治療薬の開発において臨床試験が進行しています。

特に、子宮頸がんは20代から30代の女性も多く罹患し、年間の罹患者数は約1万人です。子宮頸がんの予備軍であるCINは、更に多くの潜在患者が見込まれているにもかかわらず、治療薬が存在しないため、子宮頸部の一部を切除するという侵襲的治療法しかなく、女性にとって精神的・身体的な負担が大きい病気です。

本県においても、一定数の子宮頸がん患者がおり、CINについてはさらに多くの患者数が予想されます。県や各自治体が関係機関と連携しながら、子宮頸がんの早期発見や早期治療を目的としてワクチン接種や定期検診受診率の向上に取り組んでいるものの、子宮頸がんの全てを予防することや発見することは困難です。キノファーマの治療薬開発が成功すれば、これまで治療薬という選択肢がなかったCIN治療において、新たな治療法を提供することが可能となり、女性のQOL向上の観点からも社会的意義は非常に大きなものと捉え、投資を決定しました。

記

1. 投資決定先の概要

企業名	株式会社キノファーマ
代表者	代表取締役 黒石 眞史
本社所在地	東京都中央区日本橋本町3丁目11番5号
創業日	2005年4月11日
事業内容	ヒトパピローマウイルスを対象とした抗ウイルス薬の研究開発
投資額・方法	非公表・株式取得

## 2. ファンドの概要

名 称	岩手新事業創造ファンド3号投資事業有限責任組合
設 立 日	2023年6月30日
ファンド規模	10億円
出 資 者	無限責任組合員：いわぎん事業創造キャピタル 株式会社 有限責任組合員：株式会社 岩手銀行 三井住友信託銀行 株式会社
期 間	投資期間5年、存続期間10年（ただし、必要があれば期間の満了日から1年毎に最長2年間の延長を行うこともあります）

### [投資方針]

岩手県経済の活性化に寄与することが期待される以下の企業について、投資を通じて育成を行い、または事業を支援することにより、組合契約期間中にこれらの企業の企業価値を向上させ、株式公開、株式譲渡、自己株式取得等により投資資本額以上の回収を図るよう努めます。

- (1) 岩手県のベンチャー企業
- (2) 岩手県出身者が経営する岩手県外のベンチャー企業
- (3) 岩手県の経済活性化につながる岩手県外企業

## 3. ファンドのスキーム図

